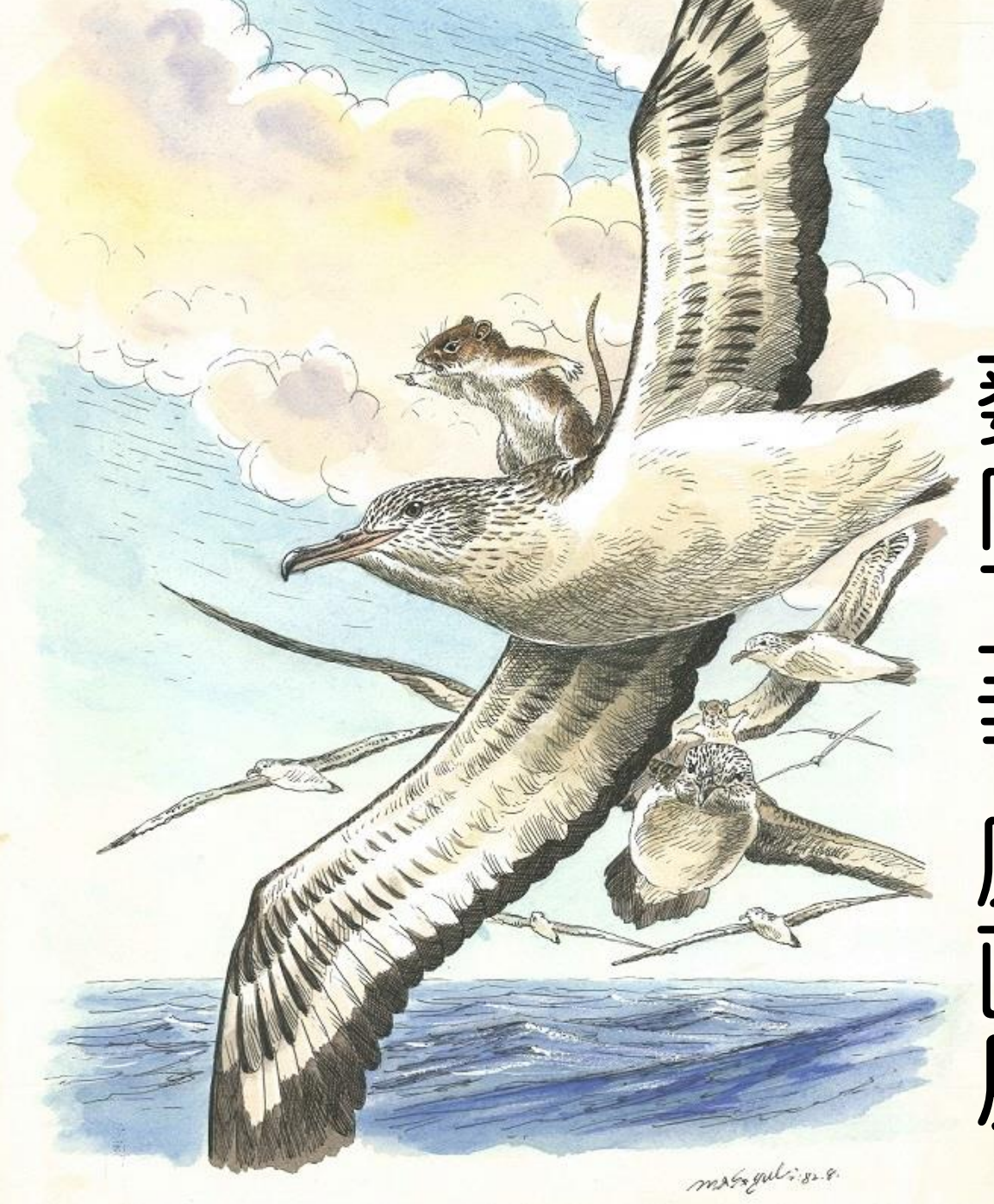


# いのちをみつめて

## 藪内正幸 原画展



2018.9.20 [Thu] → 10.9 [Tue]

富山市ガラス美術館（TOYAMAキラリ）5階ギャラリー1

10:00～18:00 入場無料

※10月3日（水）は休館日です

### 【関連企画】

藪内正幸美術館館長 藪内竜太さん講演会

### 「好きこそ物の上手なれ」

幼い頃から動物や鳥、昆虫などの生きものに興味を持ち、独学で描き続けた藪内氏の生涯をお話いただきます。

9月22日 [土] 14:00～15:00

TOYAMA キラリ 2階ロビー 申込・参加費不要

主催＝富山市立図書館交流行事運営委員会（事務局 富山市立図書館 読書推進係）

協力＝藪内正幸美術館

『冒険者たち ガンバと15ひきの仲間』（岩波書店）表紙画



TOYAMA  
キラリ

動物画家・藪内正幸氏の代表作のひとつである『しっぽのはたらき』（川田健/文 福音館書店）や『冒険者たち ガンバと15ひきの仲間』（斎藤惇夫/作 岩波書店）の原画をはじめ、約40点の作品を展示いたします。緻密に描かれた美しい動物たちの絵をご鑑賞ください。



藪内 正幸 [ やぶうち まさゆき ]

1940年大阪生まれ。幼少時代より生き物に興味を抱き、身近な生物の飼育に明け暮れる。小学生の頃より始まった動物園通い、動物学者との文通を通じ動物の知識を得て、あわせて独学で動物画を描き始める。

高校卒業と同時に哺乳類図鑑を出版予定だった福音館書店に入社、国立科学博物館に日参して動物の骨格標本の模写を続ける。

1965年に「くちばし」で絵本デビュー、翌年の「どうぶつのおやこ」、1969年のかがくのとも創刊号「しっぽのはたらき」（全て福音館書店）など多数の絵本、「冒険者たち ガンバと十五ひきの仲間」（岩波書店）などの物語挿絵、広辞苑、世界大百科事典など図鑑挿絵、記念切手（自然保護シリーズ「アホウドリ」1975年）や広告などへ動物画を提供。また1973年に始まったサントリー愛鳥キャンペーンでは朝日広告賞第2部グランプリ、「コウモリ」（福音館書店1983年）で第30回サンケイ児童出版文化賞、「日本の恐竜」（福音館書店1989年）で第9回吉村証子記念日本科学読物賞を受賞。

2000年逝去。2004年に山梨県北杜市白州町（当時は北巨摩郡白州町）に藪内正幸美術館が開館。

藪内 竜太 [ やぶうち りゅうた ]

1969年東京生まれ。藪内正幸美術館館長。父は動物画家である藪内正幸（1940～2000）、母は福音館書店の編集者（児童書担当）を経て、フリーライターでありタイ料理研究者でもあった戸田杏子（本名：藪内幸枝 1941～2006）。

大学卒業後はJRの外郭団体に勤務するものの2000年の正幸死去に伴い退社、以後遺された1万点以上もの原画の管理を専属で行う。

2001年 美術館設立に向けて学芸員資格を取得。

2004年 藪内正幸美術館を山梨県北杜市白州町（当時は北巨摩郡白州町）に開館。

現在は館長を務め、各地で開催される原画展の企画から講演までを行う。山梨県北杜市白州町在住。



藪内正幸美術館

// 問い合わせ先 //

富山市立図書館交流行事運営委員会（事務局 富山市立図書館 読書推進係）  
〒930-0062  
富山県富山市西町5番1号 TOYAMA キラリ内  
TEL (076) 461-3200 FAX (076) 461-3310  
URL <http://www.library.toyama.toyama.jp/>

